

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No.B-74)

「カフェの利用」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「カフェの利用」について写真観察を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、多くの実践女子大生はカフェを利用する際に、飲み物と食べ物の両方を注文していることがわかりました。食べ物の種類を見ると食事よりも、デザートやパンなどの軽食系の方が多く見られました。また、食事系の食べ物を注文している人は、飲み物を注文していない人が多く見られました。

調査結果のポイント

(1) 飲み物と食べ物の両方を注文する人が多い

最も多くの学生が、飲み物と食べ物の両方を注文していました。特に、デザートやパンなどの軽食系の食べ物を注文している人が両方注文している人が多く見られました。

(2) 食事系の食べ物を注文する人は飲み物を注文しない人が多い

注文しているものの種類別で分類したところ、食事系の食べ物を注文している人は、飲み物を注文している人が少ないことがわかりました。これは、軽食系の食べ物よりも食事系の食べ物の方が、金額が高いことが影響しているのではないかと考えられます。

(3) 注文している食べ物は軽食系の方が多い

全体的に、食事系の食べ物よりも軽食系の食べ物を注文している人が多く見られました。これは、カフェを利用する時間帯が関係しているのではないかと考えられます。写真からは外の明るさから、食事が済んだ後の昼過ぎから、夕方にかけてカフェを利用する人が多いのではないのではと見られました。

(4) 人数は2人で利用している人が多い

向かい合わせで座っている写真が多く、カフェを利用する際の人数は2人が多く見られました。次に多いのは、1人で利用している人でした。これは、カフェを利用する目的の違

いから人数の違いが生じているのではないかと思いました。

(5) テーブルは木製の落ち着いた色のものが多い

テーブルの材質を見てみると、木製の落ち着いた印象の茶系のものが多い、テーブルの大きさは、それほど大きくなく、食べ物を注文していると、テーブルがいっぱいになっていました。また、形は四角いテーブルが多く、次に丸いテーブルが多いことがわかりました。

調査概要

- 調査対象：実践女子大生 1～4 年生 51 人
- 調査方法：対象者観察
- 調査期間：2018 年 8 月 1 日～8 月 16 日
- 調査場所：カフェ
- 回答者の属性：実践女子大学生 1～4 年 100%

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3 年 榎本真梨

田沼初音

美馬沙里奈

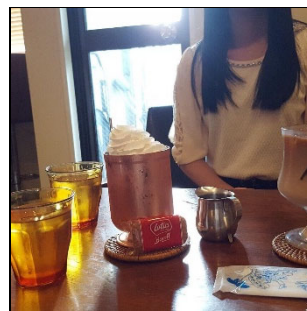
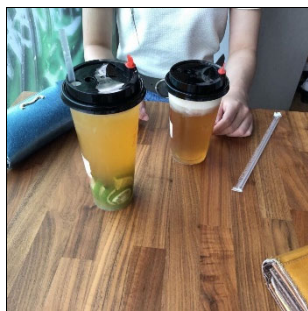
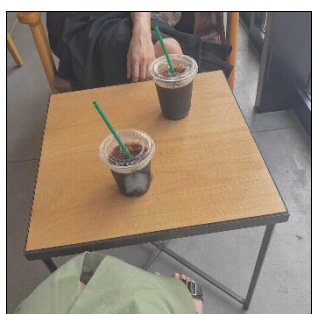
森彩佳

割田帆奈美

写真

以下は、注文したものの種類別に写真資料を分けたものである。

【飲みもののみ】





【食べ物のみ】



【飲み物と食べ物の両方】

